八雲（やくも）保育園はどんなところ？

八雲保育園は松山市の中心街に位置する昭和４７年に創立された保育園です。定員は１５０名で、１歳から６歳までの子どもたちが在園しています。広い芝生化された園庭では、子どもたちが元気に走り回り、虫や草花などの自然に触れながら、“主体性”を持って自分をのびのび表現できる環境を大切にして過ごしています。

はる



毎日春の草花や虫を見つけに行く子どもたち。「ここに穴があるよ」とアリの巣を見つけて観察が始まります。

なつ



どろんこ遊びや水遊びを楽しんでいます。初めは少しずつ触っていた泥も、少しずつダイナミックになってきていきます。また芝生の上では裸足で駆け回っています。

「市の中心にありながら のびのび遊べる広い芝生の園庭」

あき



園庭でかけっこやリレーをしたり踊ったりして、たくさん身体を動かしています。

ふゆ



冬には芝生が雪景色になることも？一面の雪景色を嬉しそうに雪をかき集めています。

「やってみたい！」から始まる
自分らしく伸びる力（主体性）

あらかじめ答えを教えるのではなく、子ども自身の「発想」や「思想」を尊重します。

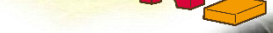
八雲保育園が考える「主体性」とは？

子どもたちが自ら「これなんだろう？」「やってみたい！」と興味を持ち、自分で考え、工夫して行動すること。小さな「できた！」の積み重ねが、自信とたくましい創造力を育みます。

❶ 自由な発想を広げる『あそび』

感触遊びやどろんこ遊び、ごっこ遊びの中で「こうしたらどうなるだろう？」と試行錯誤しながら、自分たちで遊びを発明していきます。





❷ 異年齢や仲間との関わり

「一緒に行こう」「手をつなごう」と年上の子が年下の子を思いやる姿や、友だち同士でアイデアを出し合って遊びを深める協調性も、自発的な関わりの中から育まれます。





❸『自分でできた！』の達成感

食育での野菜の皮むきや日常の着替えなど、「自分でやってみたい」という気持ちをあたたかく見守り、小さな「できた！」を積み重ねて自信へ繋げます。



街の中でも、のびのび。
あそび・体験・人とのかかわりを通して
子どもの「やってみたい」を育てます。